

Together



mediVR KAGURAの詳細はこちら



一般社団法人 巨樹の会

下関リハビリテーション病院

〒750-0064 山口県下関市今浦町9-6 TEL.083-232-5811 FAX.083-232-0219



mediVR KAGURA の特徴

身体を見せない

×

点推定

×

多感覚生体フィードバック

mediVRカグラを用いた体性認知協調療法は、脳再プログラミング療法とも呼ばれ、VR空間上に表示される対象に向かって座位で手を伸ばすという動作を左右交互に繰り返すことによって脳の可塑性を刺激し、脳内の情報伝達処理過程が整理されると考えられています。mediVRカグラではVR空間の中に患者さんの身体を表示しません。VR空間には「コントローラー」と「目標となるオブジェクト」が表示され、これらを3次元空間の座標を意識して重ね合わせる「点推定」を行うことで、脳に身体動作のイメージを明確に生成させます。これにより一般的にアプローチが困難であった深層筋の収縮を促すことや、脳内の情報伝達処理過程が整理されることにより、円滑な身体操作が可能になる事が期待出来ます。点推定には特に奥行き方向に関する空間座標の指定が重要となるため、mediVRカグラではVR空間内で目標オブジェクトは固定されているか、垂直方向にしか動きません。また、点推定に加えて動作達成時のみに視覚、聴覚、触覚に刺激を与える多感覚生体フィードバック機能を実装することで脳の学習を極めて効率的に行えるようにしています。



“自分らしい”からだ暮らしを取り戻したい。

最新鋭の VRリハビリ機器

mediVR KAGURA

もう一度、自分の足で歩きたい。心ゆくまで趣味を楽しみたい。家族や友人と、思いやり笑い合いたい。
そんな患者さんのために医師が神経科学・行動科学の知見に基づいて開発したVRリハビリテーション医療機器がmediVRカグラです。
VR(仮想現実)を活用して、「自分らしい」からだ暮らしを取り戻したい」と願う患者さんを支援します。